

大津市学童保育連絡協議会の活動



大津市には市営 37 クラブ、民間 8 児童クラブがあり、市営の 20 クラブが市連協に加盟しています。大津市が近年抱える大きな課題としては狭隘化（約半数が国の基準以下の面積）とそれに伴う指導員の負担増（夏休み保育受け入れ時に狭隘化が激化）です。このため、市連協としては加盟クラブ間の情報共有に加え、市の担当課および議員へのロビー活動が重要となります。

大きな行事では5月の市連協総会と年三回の代表者会議を開催しています。これら会議では国や県レベルの大きな流れや大津市議会の動きを共有し要望書について議論します。毎回会議の後半には、OB や指導員あるいは外部講師を招いて講演会を行い、その後で車座となってお互いの状況や意見をざっくばらんに共有し合う場を設定します。特に、総会と第三回代表者会議には議員に参加をお願いし、地盤地域の保護者と直接対話する場を設定します。

その他、夏休み明けに市の担当課から直に要望書に対する回答を頂く場を設けています。堅苦しい交渉の場としてではなく、理想論を織り交ぜて議論することをお互い許容する場として位置づけ、正直な意見のやり取りを実現しています。

また、各クラブの個別課題に対しては地元議員にアテンドし現場を見学して頂き、保護者から直接議員へ気持ちを伝える橋渡しを行います。なお、狭隘化など問題が大きい場合には市の担当課の協力を取り付けた上で全会派に声をかけて見学会を実施することもあります。

さらに、本年は越直美市長との対話も実現できました。市の担当課へ協力を要請し市役所のお膝元でありながら課題が根深い児童クラブを会場に選び実施しました。市長には本年初頭の市長選での我々の公開質問状に回答頂いており、その後も議会で狭隘化の激しい二カ所の市営クラブで新棟建設が決定されるなど大きな動きがある中での対話となりました。菅沼市連協会長の采配によって、一筋縄ではいかない込み入った話を和やかに話し合うことが出来たことは成果だと思います。

広報活動としては月1回程度市連協ニュースを発行し、全国研ツアーなどのイベント時に号外を発行するなど、紙面を工夫しつつ会員に興味を持って頂けるよう工夫しています。また、昨年より徐々にコミュニケーションツールの活用も行っています。役員間の情報伝達ではLINEを利用しスピードと透明性を実現しました。また、フェイスブックの活用を開始しリアルタイムに活動を発信できる体制を作り、全国各地から多くの「いいね！」を頂けるようにもなりました。

<https://www.facebook.com/gakudo.shiga.otsu/>

大津市学童保育連絡協議会 事務局 斎藤



署名活動にご協力をお願いします。

衆議院議長・参議院議長 宛「子どものための予算を大幅に増やし、安心できる保育・学童保育の実現を求める請願書」(全国保育団体連絡会)署名にご協力をお願いします。署名用紙は11月13日(研究集会)に各市町連協へ配付させていただき、詳細は11月16日の代表委員会でお伝えします。

全国学童保育連絡協議会は全国保育団体連絡会に全国幹事団体として関わっています。



第51回 全国学童保育研究集会が愛知で開催！

2016年10月29日(土)全体会 (13:00~16:40)全体会愛知県体育館
10月30日(日)分科会 (9:30~16:00)金城学院大学



滋賀県学童保育連絡協議会の総会で、この研究集会の参加目標を100人と決めました。金鯱TIMES No. 2(あいち実行委員会発行)によると、2日間の総参加者数は4691人でした。(うち滋賀県連協からの参加者は137人)

全国研の幕開けは恒例の子どもたちによる歓迎行事でした。28か所の学童保育から580人が参加。歌と寸劇、鳴子を手にしての踊り、遊具のやっこ操るパフォーマンスに大きな拍手でした。

昨年に引き続き、厚生労働省の後援をいただき、全体会では、厚生労働省雇用均等・児童家庭局総務課少子化総合対策室室長補佐 大津昭夫さんから来賓のご挨拶をいただきました。記念講演は、「発達見守る 子どもへの言葉かけ」 田丸敏高(福山市立大学教授)

二日目(30日)は、29分科会と2つの特設分科会で学習、交流をしました。9月22日に開催した「滋賀県学童保育指導員学校」でお世話になった福井先生(滋賀県立大学)や田村先生(立命館大学)は、それぞれ分科会講師として、専門分野の講義をされました。今回も県連協から、6人の世話人や報告者を送りました。お忙しい中から参加いただいた皆さん、きっと実り多い研究集会だったことと思います。

ぜひ、この2日間の研究集会で学ばれたことをそれぞれの地域へ持ち帰り、深めていただきたいと思います。2017年度は兵庫県神戸市で11月4日~5日に開催予定です。

全国研に滋賀から始めて参加したのは、1970年の愛知会場でした。
(滋賀から10人参加)以後46年間、毎年この集会に参加して来ました。
また、2009年10月には第44回全国学童保育研究集会を滋賀で開催しました。



県子ども・青少年局との懇談についてのお知らせ

下記のとおり、滋賀県子ども青少年局との懇談を計画しています。お忙しい時期とは思いますが、みなさんのご参加をお願いします。(今から予定しておいて下さい)

記

2016年12月21日(水) 19:00~ 栗東ウイングプラザ4階(研修室E)
懇談の内容は、すでに10月に提出している滋賀県知事への「学童保育の拡充を求める要望書」に対する県の回答と各学童保育の現状、課題の共有などです。詳細は、11月16日の代表委員会で確認後にお知らせします。

